

新発田信用金庫と地域社会

～で愛、ふれ愛、ささえ愛、を大切にし、地域社会と積極的に関わっていきます～

当金庫の地域経済活性化への取組みについて

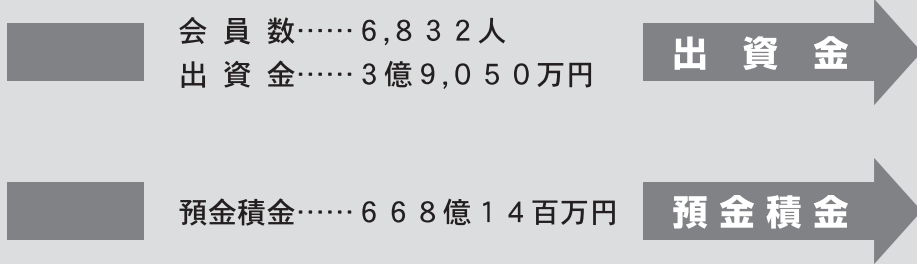
当金庫は、営業地区を新発田市(21頁をご覧ください)を中心とし、地元の中小企業や住民の皆様が出資会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

「地元の金融機関として大衆の信頼に応え、共存共栄の理念に基づき、地域社会の繁栄に貢献する」を基本方針として、地元のお客様からお預りした大切な資金(預金積金)は、地

元で資金を必要とされるお客様にご融資を行なって、中小企業の発展と地域の皆様の繁栄と豊かな暮らしづくりのお手伝いをモットーに、地域社会の発展とともに歩んでまいりました。

今後も地域社会の一員として地元の中小企業の皆様や住民との強い絆を形成し、地域経済の活性化に向け積極的に取組み、地域社会との共存共栄を図ってまいります。

お客様・会員



新発田

店舗数
8店舗

預金積金に関する事項(地域からの資金調達の状況)

当金庫では、地域のお客様の着実な資金づくりのお手伝いをさせていただくため、新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

当金庫では、夏季と冬季に夢のある懸賞金付定期預金「ドンと来い!」を取り扱っております。また、年金振込みのお客様には専用の上乗せ金利のついた「ゆとり普通・貯蓄預金」、「ゆとり定期預金」をご提供しております。

決算に関する事項

平成18年3月期決算は、貸出金の伸び悩みや運用利回りの低下により厳しい状況下にありましたが、経費の削減や経営の効率化に努めるとともに、債権の売却・償却を進めた結果、2億9百万円の当期利益を計上いたしました。

また、経営の健全性を示す自己資本比率は、13.26%となりました。

当期利益：2億9百万円

自己資本比率：13.26%

文化的・社会的貢献



春の加治川・福島潟クリーン作戦に、お揃いのジャンパーで参加



6月15日の「信用金庫の日」に献血運動に参加

貸出金(運用)に関する事項(地域への資金供給の状況)

当金庫は地域社会の繁栄に貢献するという基本方針に基づいて、信用金庫業務の公共的な使命を踏まえながら小口多数利用の原則に立って、地域の中小企業や個人の皆様の

専門金融機関として特定の業種やお客様に偏ることなく、お客様の幅広い資金ニーズに迅速・的確にお応えするように努めております。

貸出金の人格別内訳	
事業者	19,982
個人	12,645
地方公共団体	4,175

貸出金の内訳	
運転資金	19,616
設備資金	17,186

住宅ローン等の内訳	
住宅ローン	7,445
消費者ローン等	5,199

信用金庫

常勤役職員数
99名

貸出金……368億2百万円
預貸率……55.08%

貸出金

支援サービス

お客様・会員

貸出金以外の運用に関する事項

当金庫はお客様よりお預りした資金(預金積金)のうち、貸出金以外の資金(余資)につきましては、安全性と収益性に十分配慮した余資運用を行なっております。

預け金残高：116億77百万円
有価証券残高：212億26百万円
預証率：31.76%

取引先への支援等(地域との繋がり)

事業者の資金ニーズにお答えすべく新たな商品開発に取り組むとともに、企業の経営改善・強化支援を目的とした職員の研修を推進し人材の育成を図っております。

また、お客様の声を反映した経営に務めるため、各店舗に組織される10の「信金会」活動や「年金友の会」親睦活動、「地区別総代会」での経営開示を行なっております。



新発田祭りでは民謡流し、帰り台輪に参加



“しんきん年金友の会”主催で行なわれた津軽圭助ショー